

## 令和4年度(2022年) 神奈川県『県民ニーズ調査』(第2回課題調査)

この調査は、県民の皆様のご意見やお考えをお聴きし、今後の県の施策を検討する基礎資料とするものです。日ごろのお考えを率直にお聴かせください。

### 【アンケートのテーマ】

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1 生物多様性     | 9 かながわの人権       |
| 2 環境問題      | 10 青少年を保護する条例   |
| 3 かながわの水源地域 | 11 子育てにおける体罰の意識 |
| 4 スポーツ      | 12 がん対策         |
| 5 自転車の利用    | 13 依存症に対する意識    |
| 6 かながわの広報   | 14 「未病改善」の取組み   |
| 7 地震対策の取組み  | 15 思いやりのある社会    |
| 8 消防団       |                 |

#### ◆ 記入上の留意事項

- この調査のご回答は、**封筒のあて名のご本人様**にお願いいたします。
- この調査は無記名式です。お名前やご住所の**記入は不要**です。
- お答えは、直接、この調査票の**あてはまる番号を○**で囲んでください。
- ご記入いただく筆記用具の種類や色の指定はありません。
- 分かる質問だけお答えいただければ結構です。

- ▼ **ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒**に入れ、**11月21日(月)まで**にご投函ください。(切手の貼り付け、お名前やご住所の記入は不要です。)
- ▼ **インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。**

### 【お問い合わせ先】

神奈川県 政策局 政策部 情報公開広聴課 広聴グループ

- **お問い合わせフォーム**(11月21日までの期間限定)

県民ニーズ調査HP

(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)に掲載している

「令和4年度調査対象者」向けお問い合わせフォームから送信してください。

右記の二次元コードからも送信できます。

お問い合わせフォーム  
 へアクセスできます。



- **電話 (045)210-1111 (内線3672~3676)**

※ 受付時間：月～金 8:30～17:15 (土日祝日は閉庁)

# 1 生物多様性

問1 「生物多様性」※の言葉の意味を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,277) (%)

1 知っている	35.3	2 言葉は聞いたことがある	36.6	3 知らなかった	26.4
(無回答 1.6)					

※ **生物多様性**とは、様々な自然が存在し、そこに住む様々な生きものたちに個性があり、お互いに関わりを持っていることをいいます。こうした自然や生きものたちが育む水や空気、食べ物などの恵みにより、私たちの暮らしは支えられています。

問2 生物多様性を保全するために日頃から心がけていること、実践していることはありますか。

(○はいくつでも) (n=1,277) (%)

1 責任あるペットの飼育	33.0	6 生物多様性を保全する活動に参加する	2.5
2 生態系に配慮した農畜水産物(※1)の購入	15.8	7 家族や友人と生物多様性保全の話をする	8.0
3 生物多様性保全に取り組む企業(※2)の製品の購入	11.3	8 その他	1.2
4 身近な自然を生物多様性の視点で考える	28.7	9 特にない	33.0
5 生物多様性に関する記事や広告に目を留める	19.5	(無回答 2.2)	

※1 **生態系に配慮した農畜水産物**とは、環境保全型農業や有機畜産により生産された農畜産物、持続可能な漁業による水産物であり、例えば有機JAS認証やエコファーマーマーク、海のエコラベルがついた製品が挙げられます。

※2 **生物多様性保全に取り組む企業**とは、製品製造時に環境負荷軽減に配慮したり、清掃や植林などの保全活動を継続して実施したりしている企業のことをいいます。今や75%の企業が経営方針に生物多様性保全の概念を盛り込んでおり、自社ホームページなどで活動を公開しています。

問3 お住いの周辺地域の自然環境は、おおよそ3年前と比べてどのような変化があったと感じますか。

(○は1つ) (n=1,277) (%)

1 豊かになった	1.3	4 どちらかといえば劣化した	19.8
2 どちらかといえば豊かになった	4.9	5 劣化した	7.7
3 変化はない	56.0	6 分からない	8.9
(無回答 1.3)			

# 2 環境問題

問4 今後、県には環境に関するどのような取組みに対して、特に力を入れてほしいですか。

(○はいくつでも) (n=1,277) (%)

1 地球温暖化対策や脱炭素化のための取組み	59.2	6 環境教育に関する取組み	32.6
2 廃棄物対策など資源循環のための取組み	62.4	7 その他	1.3
3 自然環境や生物多様性の保全のための取組み	41.0	8 特にない	2.6
4 大気環境保全のための取組み	35.9	9 分からない	1.6
5 水質や水辺の環境保全のための取組み	55.1	(無回答 1.3)	

問5 普段、環境に関する情報をどこから入手していますか。 (○はいくつでも) (n=1,277) (%)

1 テレビ・ラジオ	76.0	5 学校の授業やイベント	2.2
2 新聞・雑誌	38.2	6 家族・友人・知人から	8.6
3 インターネット・ソーシャルメディア※	58.7	7 その他	0.9
4 行政や企業の広報誌やイベント	17.8	8 どこからも入手していない	1.8
(無回答 1.2)			

※ ソーシャルメディアとは、例えばTwitter、Facebook、Instagramなどがあります。

問6 「脱炭素（カーボンニュートラル）」※に関心がありますか。 (○は1つ) (n=1,277) (%)

1 関心がある	28.4	4 関心がない	6.1
2 どちらかといえば関心がある	41.9	5 分からない	10.7
3 どちらかといえば関心がない	11.5	(無回答 1.3)	

※ 脱炭素とは、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることをいいます。脱炭素の状態にするためには、省エネや太陽光発電の導入、森林管理などを積極的に行う必要があります。

問7 「気候変動への適応」※に関心がありますか。 (○は1つ) (n=1,277) (%)

1 関心がある	50.4	4 関心がない	3.5
2 どちらかといえば関心がある	35.5	5 分からない	3.5
3 どちらかといえば関心がない	6.0	(無回答 1.1)	

※ 気候変動への適応とは、地球温暖化を主要因とした気温上昇や大雨の増加などによる健康被害や自然災害などの影響を避けることや軽減することをいいます。地球温暖化が進むと、これらの影響は更に大きくなる恐れがあるため、気候変動への適応が重要です。

### 3 かながわの水源地域

問8 県の「やまなみ五湖」(※1)に関する観光やグルメなどの情報収集をする場合、どの手段を利用したいと思いますか。 (○はいくつでも) (n=1,277) (%)

1 パンフレット	32.3	5 ソーシャルメディア(※2)	32.9
2 ポスター	18.2	6 その他	2.0
3 ホームページ	52.9	7 分からない	9.4
4 インターネットメール(メールマガジン)	20.1	(無回答 1.1)	

※1 やまなみ五湖とは、県の北西部にある、相模湖、奥相模湖、津久井湖、丹沢湖及び宮ヶ瀬湖の5つのダム湖の総称のことをいいます。

※2 ソーシャルメディアとは、例えばTwitter、Facebook、Instagramなどがあります。

問9 「やまなみグッズ」※を買ってみたいと思いますか。 (○は1つ) (n=1,277) (%)

1 そう思う	11.8	4 そもそも知らなかった	51.1
2 そう思わない	11.7	5 分からない	6.7
3 どちらともいえない	17.7	(無回答 1.1)	

※ やまなみグッズとは、水源地域の素材や、自然の恵みを生かした食品、工芸品などの特産品のことをいいます。

問 10 工芸品の職人や体験教室の講師など、水源地域の魅力を発信する様々な活動をしている人と現地で交流する場合、どのようなことを体験したいですか。 (○はいくつでも) (n=1, 277) (%)

1 ダム湖などの現地案内	41.7	5 水源林の役割などの水源学習	25.3
2 農作物などの収穫体験	33.6	6 その他	0.9
3 水源林の保全体験	21.1	7 特にない	17.6
4 工芸品などの工作体験	42.0		(無回答 1.2)

## 4 スポーツ

問 11 体力に自信はありますか。 (○は1つ) (n=1, 277) (%)

1 ある	9.0	4 ない	20.0
2 どちらかといえばある	30.9	5 分からない	4.4
3 どちらかといえはない	34.5		(無回答 1.1)

問 12 この1年間で1日に30分以上の運動やスポーツ※をした日数はどのくらいになりますか。 (○は1つ) (n=1, 277) (%)

1 週に5日以上	13.5	5 月に1～3日程度	15.6
2 週に3日程度	13.8	6 3か月に1～2日程度	6.7
3 週に2日程度	12.4	7 年に1～3日程度	10.0
4 週に1日程度	17.0	8 分からない	9.6
			(無回答 1.4)

※ 1回10分程度の運動やスポーツを合計して30分でも構いません。また、レクリエーションとして行う身体活動やウォーキングなどの軽度の運動も含まれます。

問 13 スポーツ推進に係る取組みについて、知っているものを選んでください。 (○はいくつでも) (n=1, 277) (%)

1 3033 (サンマルサンサン) 運動 (※1)	7.0	3 どれも知らなかった	83.8
2 総合型地域スポーツクラブ (※2)	9.8		(無回答 1.6)

※1 3033 (サンマルサンサン) 運動とは、運動やスポーツを1日30分、週3回、3か月間継続して行い、くらしの一部として習慣化する取組みのことをいいます。

※2 総合型地域スポーツクラブとは、地域住民が主体となって運営する多種目、多世代、多志向型のスポーツクラブのことをいいます。

問 14 「かながわパラスポーツ」※について知っていますか。 (○は1つ) (n=1, 277) (%)

1 知っている	5.8	3 知らなかった	70.2
2 言葉は聞いたことがある	22.9		(無回答 1.0)

※ かながわパラスポーツとは、すべての人が自分の運動機能を活かして同じように楽しみながらスポーツをする、観る、支えることをいいます。

## 5 自転車の利用

問 15 県の条例で、自転車を利用される方全てに自転車損害賠償責任保険等※の加入義務があることを知っていますか。 (○は1つ) (n=1,277) (%)

1 知っている	75.0	2 知らなかった	23.8	(無回答 1.2)
---------	------	----------	------	-----------

※ 自転車損害賠償責任保険等とは、自転車を利用中の交通事故で、相手の怪我などの被害に係る損害を補償する保険等のことをいいます。保険等には、自転車専用の保険のほか、自動車保険などの特約（個人賠償責任保険）、自転車に付帯する保険などがあります。

問 16 通勤や通学、その他日常生活で自転車を利用していますか。 (○は1つ) (n=1,277) (%)

1 利用している	29.5	2 利用していない	69.1	(無回答 1.3)
----------	------	-----------	------	-----------

### 【問 16 で 1 を選んだ方へ】

問 16-1 自転車損害賠償責任保険等に加入していますか。 (○は1つ) (n=377) (%)

1 加入している	78.0	3 分からない	7.4
2 加入していない	13.3	(無回答 1.3)	

問 16-2 自転車をどのような目的で利用していますか。 (○はいくつでも) (n=377) (%)

1 通勤・通学	38.2	4 スポーツ・レジャー	19.1
2 仕事	9.8	5 その他	4.2
3 買い物・食事	74.8	(無回答 0.5)	

### 【問 16 で 2 を選んだ方へ】

問 16-3 今後、自転車を利用したいと思いますか。 (○は1つ) (n=883) (%)

1 そう思う	18.0	3 どちらともいえない	26.6
2 そう思わない	47.2	(無回答 8.2)	

## 6 かながわの広報

問 17 県は、県の取組みや行事、お知らせなど県政情報を十分に伝えていると思いますか。 (○は1つ) (n=1,277) (%)

1 伝えている	7.7	4 伝えていない	9.6
2 どちらかといえば伝えている	31.3	5 分からない	27.2
3 どちらかといえば伝えていない	23.5	(無回答 0.7)	

問 18 県が県政情報を伝えている広報媒体について、知っているものを選んでください。

(○はいくつでも) (n=1,277) (%)

1 県の広報紙「県のたより」	67.3	
2 県の公式 YouTube チャンネル「かなチャン TV」	4.9	
3 県の広報テレビ番組 (tvk「カナフル TV」)	12.8	
4 県の広報ラジオ番組 (FM ヨコハマ「KANAGAWA Muffin」)	11.5	
5 県のホームページ	35.6	
6 県のソーシャルメディア※	9.0	
7 県が発行する冊子・パンフレット・チラシなど	19.2	
8 新聞での紙面広報	14.3	
9 フリーペーパー	6.3	
10 どれも知らなかった	12.8	(無回答 3.3)

※ ソーシャルメディアとは、例えば Twitter、Facebook、Instagram などがあります。

問 19 県政情報をどこから入手していますか。

(○はいくつでも) (n=1,277) (%)

1 県の広報紙「県のたより」	58.9	
2 県の公式 YouTube チャンネル「かなチャン TV」	1.4	
3 県の広報テレビ番組 (tvk「カナフル TV」)	6.3	
4 県の広報ラジオ番組 (FM ヨコハマ「KANAGAWA Muffin」)	6.2	
5 県のホームページ	23.6	
6 県のソーシャルメディア	6.7	
7 県が発行する冊子・パンフレット・チラシなど	12.1	
8 新聞での紙面広報	11.3	
9 フリーペーパー	4.2	
10 どこからも入手していない	20.9	(無回答 3.4)

## 7 地震対策の取組み

問 20 家では、大きな地震に備えて、どのような対策をとっていますか。

(○はいくつでも)

(n=1,277) (%)

1 持出品の準備や食料などの備蓄	61.4	6 防災訓練に積極的に参加	8.5
2 住まいの耐震化	17.5	7 感震ブレーカー※などの設置	6.0
3 家具・家電などの固定	34.3	8 消火器の設置	25.1
4 避難場所や避難経路の確認	38.6	9 その他	0.2
5 家族と連絡方法の確認	31.6	10 特に対策はとっていない	12.8
(無回答 3.4)			

県では、首都直下地震や南海トラフ地震、県西部地震の発生の切迫性が指摘されるなど、大規模地震に対する備えが重要な課題となっています。

※ 感震ブレーカーとは、揺れを感知して電気を止める器具のことをいいます。

問 21 津波について、知っていたことを選んでください。(○はいくつでも) (n=1,277) (%)

1 小さな揺れでも津波の恐れがある	57.6	7 遠い所ではなく高い所に逃げる必要がある	82.5
2 津波は早ければ数分で到達する	80.6	8 津波フラッグ(※2)が出ることもある	7.6
3 地震発生後5分以内に避難する必要がある	33.4	9 放送で津波を知らせることがある	52.0
4 津波は繰り返し襲ってくる	75.0	10 津波防災地域づくり法(※3)がある	3.1
5 津波避難ビル指定の建物がある	27.2	11 どれも知らなかった	0.8
6 津波に関するマップ(※1)がある	46.3		(無回答 3.3)

※1 津波に関するマップとは、津波の浸水範囲や避難情報などが記載されている、津波浸水予測図マップや津波ハザードマップなどのことをいいます。

※2 津波フラッグとは、津波警報・注意報などが発表された際、避難を呼びかけるために海岸に出される赤と白の格子模様の旗のことをいいます。

※3 津波防災地域づくり法とは、2011年12月施行の「津波防災地域づくりに関する法律」のことをいいます。

問 22 津波に対する防災・減災の観点から、お住まいの地域で実施が望まれるものはありますか。(○はいくつでも) (n=1,277) (%)

1 「津波災害警戒区域」(※1)の指定	23.3	5 その他	1.0
2 「津波災害特別警戒区域」(※2)の指定	17.9	6 特になし	11.4
3 「推進計画」(※3)の策定	13.9	7 分からない	18.3
4 内陸在住のため、特に望むものはない	34.8		(無回答 4.8)

※1 津波災害警戒区域とは、津波発生時に住民等に危害が生じる恐れがある区域のことをいいます。

※2 津波災害特別警戒区域とは、津波災害警戒区域のうち、住民等に著しい危害が生じる恐れがある区域のことをいいます。

※3 推進計画とは、津波防災地域づくりを推進するために市町村が作成する計画のことをいいます。

## 8 消防団

問 23 消防団※を知っていますか。(○は1つ) (n=1,277) (%)

1 知っている	75.4	3 知らなかった	2.2
2 言葉は聞いたことがある	19.1		(無回答 3.3)

※ 消防団とは、普段は別の仕事などをしながら、消火・救助活動、防火啓発活動などを行う、その市町村に居住(または勤務・通学)している人で構成される市町村の消防機関のことをいいます。

問 24 消防団に入団したいと思いますか。(○は1つ) (n=1,277) (%)

1 入団したい	0.5	4 すでに入団している	0.4
2 条件が合えば入団してもよい	6.3	5 どちらともいえない	20.9
3 入団したくない	56.9	6 分からない	10.9
			(無回答 4.1)

問 25 消防団員の減少が全国的に問題となっています。消防団に入団する人が少ない理由は何だと思  
いますか。 (○はいくつでも) (n=1,277) (%)

1 消防団活動の意義を感じないから	12.9	7 人づきあいが大変そうだから	33.9
2 申込方法が分からないから	18.4	8 家族の同意が得られないから	6.7
3 活動する時間がないから	52.8	9 職場の理解が得られないから	16.0
4 活動が大変そうだから	49.6	10 消防団活動に対する報酬や手当が少ないから	23.5
5 活動内容をよく知らないから	42.9	11 その他	1.6
6 体力に自信がないから	32.5	12 分からない	5.4
(無回答 1.1)			

## 9 かながわの人権

問 26 今の日本は基本的人権が尊重されている社会だと思いますか。 (○は1つ) (n=1,277) (%)

1 そう思う	33.0	3 どちらともいえない	41.4
2 そう思わない	21.5	(無回答 4.1)	

問 27 普段身近に感じている、または最近気になっている人権課題は何ですか。 (○はいくつでも)  
(n=1,277) (%)

1 子どもの人権	36.6	8 貧困※などによる人権問題	37.5
2 女性の人権	38.2	9 犯罪被害者などの人権	22.6
3 障がい者の人権	37.8	10 拉致被害者の人権	15.5
4 高齢者の人権	28.4	11 性的マイノリティの人権	22.9
5 医療従事者・患者などの人権	23.3	12 インターネットにおける人権問題	40.9
6 同和問題(部落差別)	7.0	13 その他	1.8
7 外国人の人権	17.4	14 特にない	7.8
(無回答 1.3)			

※ 貧困とは、平均収入の半分以下の世帯であり、年齢に関係なく住居喪失状態に陥っている状態や、適切な支援につながらず、生活に困窮している状態のことをいいます。

問 28 人権課題を解消するために、力を入れて取り組む必要があると思うことは何ですか。  
(○はいくつでも) (n=1,277) (%)

1 学校などにおける人権教育	64.8	6 差別的表現の規制・モニタリング	17.7
2 企業などにおける人権研修	38.8	7 国による法整備	44.6
3 広告やインターネットを活用した啓発活動	21.0	8 地方自治体による条例整備	32.0
4 相談体制の充実	37.4	9 その他	1.3
5 当事者を支援する取組みの充実	38.7	10 分からない	7.7
(無回答 1.1)			



## 10 青少年を保護する条例

問 29 県で「青少年保護育成条例」※を定めています。その内容を知っていますか。 (○は1つ)  
(n=1, 277) (%)

1 知っている	28.7	3 知らなかった	24.0
2 条例があることは知っていたが、内容は知らなかった	46.8	(無回答)	0.5

※ 「青少年保護育成条例」とは、青少年に有害な「有害図書類」と一般図書との区分陳列や、夜11時以降の青少年の外出の制限など、様々な規定により青少年の健全な育成を図ることを目的とした条例のことをいいます。

問 30 県で「青少年喫煙飲酒防止条例」※を定めています。その内容を知っていますか。  
(○は1つ) (n=1, 277) (%)

1 知っている	49.0	3 知らなかった	27.2
2 条例があることは知っていたが、内容は知らなかった	23.3	(無回答)	0.5

※ 「青少年喫煙飲酒防止条例」とは、購入者が20歳未満の者と疑われる場合に販売者が証明書により年齢確認をする義務を定めるなど、20歳未満の者の喫煙・飲酒の防止を目的とした条例のことをいいます。

## 11 子育てにおける体罰の意識

問 31 令和2年4月から体罰(※1)の禁止が法定化されました(※2)が、依然として体罰が起きています。どのようなことが課題であると考えますか。 (○は1つ) (n=1, 277) (%)

1 子育てについて相談できる人がいない	24.9	5 その他	4.1
2 体罰を容認している風潮がある	11.5	6 特になし	3.4
3 適切な子育ての方法が分からない	21.9	7 分からない	7.5
4 体罰が禁止されていることを知らない	4.9	(無回答)	21.8

※1 体罰とは、「注意しても聞かないので頬を叩く」など、身体に苦痛、不快感を与える行為のことをいいます。また、子どもに対して、冗談のつもりでも「生まれてこなければよかった」と存在を否定するなどの発言は、子どもの心を傷つける行為であり、虐待や人権侵害に当たります。

※2 令和元年6月に成立した児童福祉法等の改正法において、体罰の禁止が法定化され、令和2年4月1日から施行されました。この法律施行の背景には、保護者が「しつけ」と称して暴力・虐待を行い、子どもの命が失われる痛ましい事件が続いたことがあります。

問 32 体罰などが繰り返されると、心身にさまざまな悪影響が生じる可能性があることが、科学的にも証明されています。次の中から体罰などが子どもに与える影響について知っているものを選んでください。 (○はいくつでも) (n=1, 277) (%)

1 身体に苦痛、不快感を与える	78.5	6 感情をうまく表せない	70.1
2 親子関係を悪くする	61.2	7 落ち着いて話を聞けない	41.3
3 攻撃的になる	55.1	8 我慢ができない	33.9
4 びくびくして落ち込む	67.5	9 自信をなくす	66.2
5 心を傷つける	83.0	10 知っているものはない	2.4
		(無回答)	1.0

問 33 子どものしつけで困った時に、誰に（どこに）相談したいと思いますか。（○は3つまで）  
 (n=1, 277) (%)

1 家族や親戚	61.7	6 市役所や町役場、村役場	5.7
2 友人や知人	51.1	7 児童相談所	12.1
3 子どもの学校や幼稚園、保育園など	24.0	8 その他	2.2
4 子育てサークル	3.6	9 相談したくない	1.5
5 子育て支援センター	24.7	10 分からない	8.3
(無回答 6.8)			

## 12 がん対策

問 34 コロナ禍における「がん検診」の受診について、どのように考えていますか。（○は1つ）  
 (n=1, 277) (%)

1 コロナ禍であっても、受診すべきである	81.0	4 分からない	8.1
2 コロナ禍では、受診は控えるべきである	5.0		
3 そもそも受診する必要性を感じない	4.4		(無回答 1.5)

主ながん検診の種類は、胃がん（問診、胃のX線検査又は胃内視鏡検査）、大腸がん（問診、便潜血検査）、肺がん（問診、肺のX線検査及び喀痰細胞診）、乳がん（問診及びマンモグラフィ）、子宮頸がん（問診、視診、細胞診及び内診）です。

### 【問 34 で 1 を選んだ方へ】

問 34-1 これからがん検診を受ける場合、どこで受診しようと思いますか。（○は1つ）  
 (n=1, 035) (%)

1 お住まいの市町村が行っているがん検診	46.4	4 人間ドック※	22.7
2 職場で行っているがん検診	19.6	5 その他	1.3
3 家族が勤務する職場で行っているがん検診	4.7	6 分からない	2.3
(無回答 3.0)			

※ 人間ドックとは、日帰りや入院を問わず、病気の予防や早期発見のために全身の状態を詳しく検査する健康診断のことをいいます。

問 35 県民のがん検診受診率は、目標としている 50%をなかなか超えられていない状況です。がん検診を受ける人が少ない理由は何だと思いませんか。（○は3つまで）(n=1, 277) (%)

1 がん検診の重要性が理解されていないから	32.4	6 検査が痛そうだから	9.4
2 申込方法や日程が分からないから	22.8	7 費用がかかるから	40.9
3 申込みが面倒だから	35.9	8 検査の結果を聞くのが怖いから	11.4
4 検診会場が不便な場所にあるから	12.4	9 検診会場でコロナに感染するのが怖いから	6.3
5 夜間や休日に受けられないから	34.2	10 分からない	5.2
(無回答 5.9)			

## 13 依存症に対する意識

問 36 依存症※について、あてはまると思うことを選んでください。(○はいくつでも) (n=1,277) (%)

1 誰でもなる可能性がある	85.0	7 その他	0.7
2 意志が弱いことが原因でなるわけではない	34.9	8 分からない	1.9
3 やめたくても、やめられなくなる病気である	69.1	9 当てはまるものはない	1.2
4 回復することはできるが時間がかかる	49.4		
5 自分が依存症であることを認めない	45.0		
6 依存対象が生活の最優先事項になる	31.6	(無回答	1.4)

※ 依存症とは、アルコールや薬物など、特定の物質を摂取することや、ギャンブルやゲーム、インターネットなど、特定の行動にのめり込み、心身への問題や社会生活への支障が生じることをいいます。

問 37 依存症について、相談できる場所として知っているものを選んでください。(○はいくつでも) (n=1,277) (%)

1 依存症専門医療機関・専門クリニック	64.8		
2 かかりつけ医(内科医など)	30.2		
3 行政機関(精神保健福祉センター、保健所など)	24.7		
4 回復支援施設(依存症の回復のための通所・入所施設)	29.7		
5 当事者や家族などの自助グループ	18.6		
6 弁護士・司法書士	1.6		
7 その他	0.2		
8 分からない	13.2		
9 知っているものはない	7.4	(無回答	2.1)

【問 37 で 1～7 を選んだ方へ】

問 37-1 相談できる場所を知ったきっかけを選んでください。(○はいくつでも) (n=986) (%)

1 ポスター・チラシなど	25.5	5 家族・知人から	13.4
2 県・市町村の広報誌(県のたよりなど)	23.7	6 職場・学校	10.4
3 医療機関・行政機関などのホームページ	28.1	7 その他	18.0
4 SNS	16.2	(無回答	7.7)

【全員の方がお答えください】

問 38 依存症の回復に必要なと思うものは何ですか。(○はいくつでも) (n=1,277) (%)

1 医療機関などでの治療	75.6	6 家族の説得	16.5
2 専門相談機関への相談	62.9	7 家族の金銭面での肩代わり	6.7
3 家族や職場など周囲の人の理解	61.2	8 その他	1.3
4 自助グループのミーティング (当事者など自身の体験などを話し合う)	30.8	9 分からない	2.1
5 本人の強い意志	51.8	10 特にない	0.5
		(無回答	2.1)

## 14 「未病改善」の取組み

問 39 「未病 (ME-BYO)」※の言葉の意味を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,277) (%)

1 知っている	26.4	3 知らなかった	44.1
2 言葉は聞いたことがある	27.1		(無回答 2.4)

※ **未病**とは、健康と病気を「二分論」の概念で捉えるのではなく、心身の状態は健康と病気の間を連続的に変化  
するものと捉え、すべての変化の過程を表す概念のことをいいます。

問 40 過去1年間で「未病改善」※の取組み(バランスの良い食事、運動、人との交流など)を以前  
と比べて行うようになったと思いますか。 (○は1つ) (n=1,277) (%)

1 もともと行っており、今も行っている	25.2
2 以前ほどではないが、少しずつ行っている	17.3
3 以前は行っていたが、まったく行わなくなった	2.6
4 以前は行っていなかったが、行うようになった	4.4
5 以前は行っていなかったが、少しずつ行うようになった	11.3
6 以前から行っておらず、今も行っていない	35.3
	(無回答 3.9)

※ **未病改善**とは、心身の状態の変化の中で、特定の疾患の予防にとどまらず、心身をより健康な状態に近づけて  
いくことをいいます。県では「食」「運動」「社会参加」を基本に、「未病改善」の取組みを進めています。

「食」： 健康的な食生活へ改善すること。食事によく食べこぼすようになるなどの、オーラルフレイル(ささい  
な口の機能の衰え)への対策も重要です。

「運動」： 日常生活にスポーツや運動を取り入れること。質の良い睡眠も重要です。

「社会参加」： ボランティアや趣味の活動などで他者と交流し、社会とのつながりを持つこと。

問 41 「未病改善」の取組み(バランスの良い食事、運動、人との交流など)をするにあたって必要だ  
と思うものは何ですか。 (○は3つまで) (n=1,277) (%)

1 医師など、専門家からの専門的知見に基づく現在の健康状態に関するアドバイス	35.3
2 健康に良い食材や調理方法など、食に関する情報	40.6
3 ボランティア募集など社会参加できる情報や相談窓口	6.6
4 スポーツセンターなど、気軽に運動ができる施設	37.8
5 家族、友人など、一緒に健康に良い行動ができる仲間	40.8
6 自分の健康状態を気軽に知ることができる施設やイベントなど	22.8
7 民間企業が提供する健康関連の商品サービス	2.8
8 将来(10~20年後)の自分に起こりうる健康リスク(生活習慣病や認知症など)を知ること	26.5
9 その他	1.8
10 特になし	4.9
	(無回答 6.6)

問 42 「フレイル」※という言葉を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,277) (%)

1 知っている	21.9	3 知らなかった	63.5
2 言葉は聞いたことがある	12.5		(無回答 2.0)

※ フレイルとは、高齢になって心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態のことをいいます。

## 15 思いやりのある社会

問 43 「ヘルプマーク」を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,277) (%)

1 知っている	65.6		
2 マークを見聞きしたことはあるが、意味は知らなかった	10.5		
3 知らなかった	22.2		(無回答 1.7)



ヘルプマークとは、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方が援助を得やすくなるよう、東京都が考案したマークのことをいいます。神奈川県でもその目的に賛同し、普及・啓発を進めています。

マークの実際の背景色は赤色です。詳細は、下記HPをご覧ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/yv4/cnt/f536306>

…\*\*

集計結果を分析するために必要な項目についてお聞きします。(個人を特定するものではありません。)

F 1 お住まいの地域はどちらですか。 (n=1,277) (%)

1 横浜（横浜市）	37.4		
2 川崎（川崎市）	13.6		
3 相模原（相模原市）	7.0		
4 横須賀三浦（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）	9.0		
5 県央（厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村）	10.6		
6 湘南（平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町）	17.1		
7 県西（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町）	3.7		(無回答 1.6)

F 2 あなたの性別をお聞かせください。 (n=1,277) (%)

1 男性	45.9	2 女性	51.5	(無回答 2.6)
------	------	------	------	-----------

F 3 あなたの年齢は、おいくつですか。(2022年11月1日現在) (n=1,277) (%)

1	18～19歳	0.3	5	35～39歳	6.1	9	55～59歳	10.2	13	75～79歳	5.3
2	20～24歳	2.2	6	40～44歳	8.8	10	60～64歳	9.2	14	80歳以上	3.1
3	25～29歳	3.0	7	45～49歳	11.4	11	65～69歳	8.6			
4	30～34歳	5.7	8	50～54歳	13.8	12	70～74歳	8.8		(無回答)	3.5

F 4 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。あてはまるものをすべて選んでください。(同居、別居は問いません。) (n=1,277) (%)

1	小学校入学前	8.4	5	短大、専門学校等在学中	0.9	9	その他	2.4
2	小学校在学中	9.0	6	大学、大学院等在学中	7.1	10	子どもはいない	34.3
3	中学校在学中	7.8	7	学校教育終了[未婚]	20.0			
4	高校在学中	7.0	8	学校教育終了[既婚]	22.1		(無回答)	4.4

F 5 現在のお宅の家族形態は、次のどれにあたりますか。(n=1,277) (%)

1	一人暮らし(単身世帯)	16.0	4	祖父母と親と子の世帯(3世代世帯)	4.2
2	夫婦のみ(1世代世帯)	28.4	5	その他の世帯	4.4
3	親と子の世帯(2世代世帯)	43.1		(無回答)	4.0

F 6 あなたの現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。1～9の中から1つ選んでください。  
また、1～5を選んだ方は、右のア～ケの中から1つ選んでください。

(n=1,277) (%)

(n=819) (%)

1	自営業主	6.3	ア～ウから 1つ選んで ください。	ア	農林水産業	0.1
2	家族従業者 (家業手伝い)	0.6		イ	商工サービス業(各種商店、飲食店、工事店などの経営)	5.0
3	勤め (フルタイム)	43.0	エ～ケから 1つ選んで ください。	ウ	自由業(開業医、弁護士、茶華道師匠、芸術家など)	5.6
4	勤め (パートタイム)	14.1		エ	経営・管理職(会社等の部長級、官公庁の課長級以上)	8.4
5	内職	0.1		オ	専門・技術職(研究者、技術者、勤務医、看護師など)	23.6
6	主婦・主夫(勤めていない)	14.6		カ	事務職(事務系会社員・公務員、警察官、駅員など)	23.2
7	学生	1.3		キ	教育職(教諭、保育士など)	4.5
8	無職	13.5		ク	技能・労務職(工場の生産工程従事者、運転士など)	9.6
9	その他	1.0		ケ	販売・サービス職(商店、サービス業などの従業員)	17.7
					(無回答)	2.2
					(無回答)	5.5

質問は以上です。最後までご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返送用封筒で、11月21日（月）までにご投函ください。（切手は不要です。）  
なお、インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。

今回の調査でお伺いしたテーマについて、ご意見やご提案がありましたら、お書きください。

ご意見やご提案を希望するテーマの番号に○をつけてください。

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1 生物多様性     | 9 かながわの人権       |
| 2 環境問題      | 10 青少年を保護する条例   |
| 3 かながわの水源地域 | 11 子育てにおける体罰の意識 |
| 4 スポーツ      | 12 がん対策         |
| 5 自転車の利用    | 13 依存症に対する意識    |
| 6 かながわの広報   | 14 「未病改善」の取組み   |
| 7 地震対策の取組み  | 15 思いやりのある社会    |
| 8 消防団       |                 |

下記にその内容をご記載ください。

218人（17.1%）から自由意見が寄せられました。

